

vRealize Automation 8 での NSX-V から NSX-T への移行ガイド

2021 年 6 月 24 日

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>)

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴィエムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

Copyright © 2021 VMware, Inc. All rights reserved. [著作権および商標情報](#)。

目次

- 1 vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への (NSX V2T) 移行 4
 - NSX V2T 移行の開始 8
 - NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行 10
 - 移行後タスクの実行と移行したリソースの操作 18

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への (NSX V2T) 移行

1

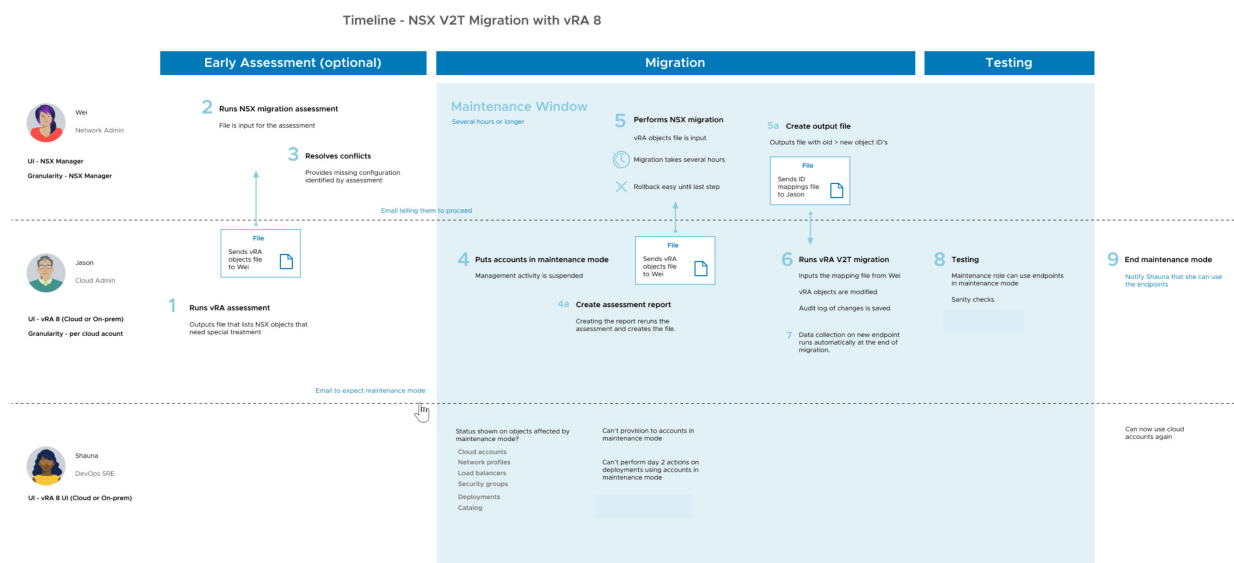
vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行では、vRealize Automation の構成要素内で NSX-T Data Center Migration Coordinator ユーティリティを利用できます。移行プロセスは通常、vRealize Automation 環境で実行されますが、このプロセスには、vRealize Automation 管理者と NSX 管理者が連携して情報を共有することが必要な、相互に関連するアクションがいくつか含まれます。

vRealize Automation で VMware NSX Data Center for vSphere (NSX-V) を VMware NSX-T Data Center (NSX-T) に移行するには、vRealize Automation の規範的な NSX-V から NSX-T への移行アシスタントを使用します。この移行アシスタントは、[はじめに] 画面と一連の移行プラン画面から構成されています。

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントでは、各ソース NSX-V クラウド アカウントに個別の移行プランが必要です。

NSX-V クラウド アカウントと NSX-T に関連するオブジェクトを移行することで、NSX-T と、vRealize Automation 内への統合による強力な機能を活用できるようになります。

vRealize Automation の移行プランを実行するときには、プロセスの途中で、vRealize Automation 管理者と NSX 管理者が NSX-T Data Center Migration Coordinator ユーティリティに対する入力および出力として相互にファイルを共有する必要があります。移行プランでは、必要なファイルを共有するために NSX 管理者との連携が必要になると、画面上のヘルプによって通知されます。次の図に、移行プロセス ワークフローにおける管理者間の関係の基本を示します。



vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントは、NSX-V クラウド アカウントとその関連オブジェクトを現在の vRealize Automation リリース内の NSX-T に移行することを目的として使用できます。NSX クラウド アカウントを別の vRealize Automation リリースに移行するために使用することはできません。

このガイドは、vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントとその移行プランの手順で使用することを意図しています。このガイドは、vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの画面上で提供されるガイダンスによる指示を補うために使用します。

関連する NSX-T Data Center Migration Coordinator ユーティリティについては、[NSX-T Data Center Migration Coordinator ガイド](#)を参照してください。

NSX-T に移行するメリットの詳細については、[VMware NSX-T への移行製品ページ](#)および [NSX-T の新機能](#)を参照してください。

サポートされているトポロジ

vRealize Automation では、NSX-V オブジェクトを NSX-T リリース 3.1.1 以降に移行できます。NSX-V オブジェクトをリリース 3.1.0 以前の NSX-T に移行することはできません。vCenter 7.0 以降も必要です。

移行では次のトポロジがサポートされています。

- 既存のネットワーク（固定および DHCP）
- ルーティング ネットワーク（固定および DHCP）
- プライベート ネットワーク（固定および DHCP）
- 既存のセキュリティ グループ
- オンデマンド セキュリティ グループ
- 既存のネットワーク上のオンデマンド 1 アーム ロード バランサ
- 共有ゲートウェイを使用する、または使用しない送信ネットワーク（固定および DHCP）
 - ユーザー定義の DNAT ルールはサポートされていません
 - 送信ネットワークを使用するロード バランサはサポートされていません
- オンデマンド セキュリティ グループとして隔離ポリシーを使用する送信ネットワークまたはプライベート ネットワークを含む展開
- セキュリティ グループによって隔離されるプライベート ネットワーク
- セキュリティ グループによって隔離される送信ネットワーク

現在、次のトポロジは移行がサポートされません。移行プランの評価手順でこれらのトポロジのいずれかが検出されると、検証エラーが生成され、オブジェクトは移行されません。

- NAT またはゲートウェイ コンポーネントに対して構成された NAT ルールまたは DNAT ルールを含む展開
- 共有 T1 を使用するルーティング ネットワーク
- 任意のオンデマンド ネットワーク上の 1 アーム ロード バランサまたはインライン ロード バランサ

- 既存のネットワーク上のオンデマンド インライン ロード バランサ
- 既存のセキュリティ タグ

サポートされているトポロジの関連情報については、[NSX-T 製品ドキュメント](#)の『NSX-T Data Center Migration Coordinator Guide』で、[Topologies Supported for Integration with vRealize Automation](#)を参照してください。

NSX-V および vCenter Server のオブジェクトが vRealize Automation 7.x から vRealize Automation 8.x に移行されていた場合のデータ収集の実行

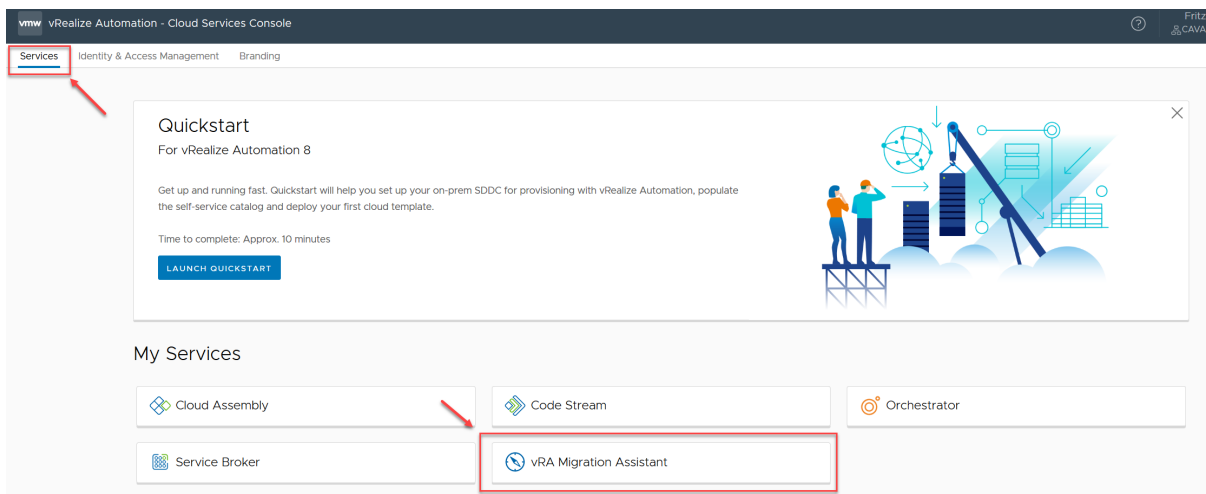
vRealize Automation 環境内の展開が vRealize Automation 7.x から vRealize Automation 8.x に移行されていた場合、NSX-V から NSX-T への移行プランを作成する前に、NSX-V および vCenter Server のクラウドアカウントでデータ収集を実行する必要があります。この手順は、ロード バランサなどの移行済みリソースに関する追加情報をデータ収集に含めるために必要です。

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントへのアクセス

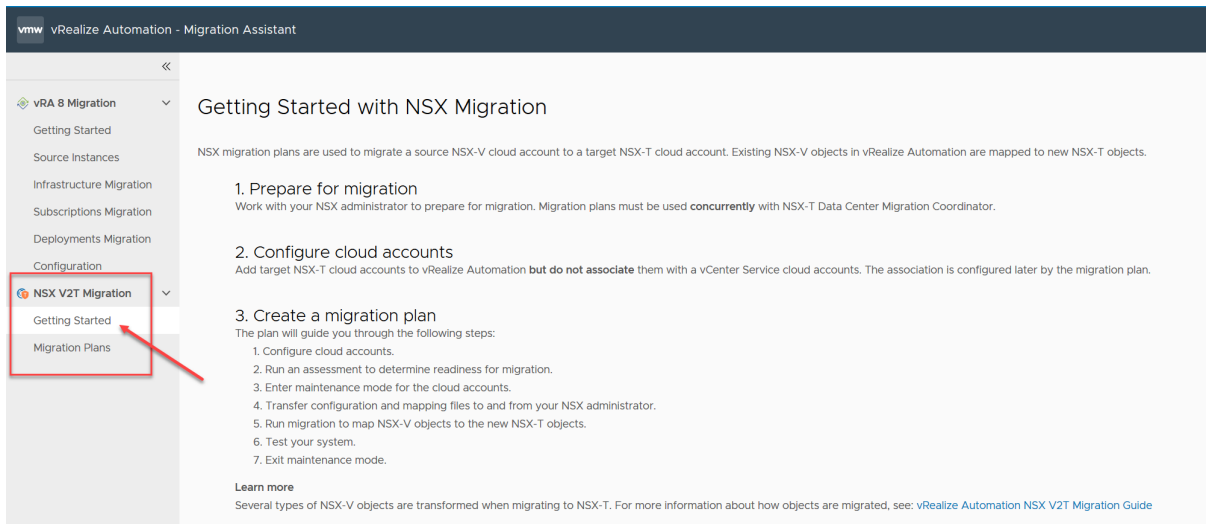
このセクションでは、移行プロセスの概要について説明します。

Cloud Services コンソールから、vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントを開きます。

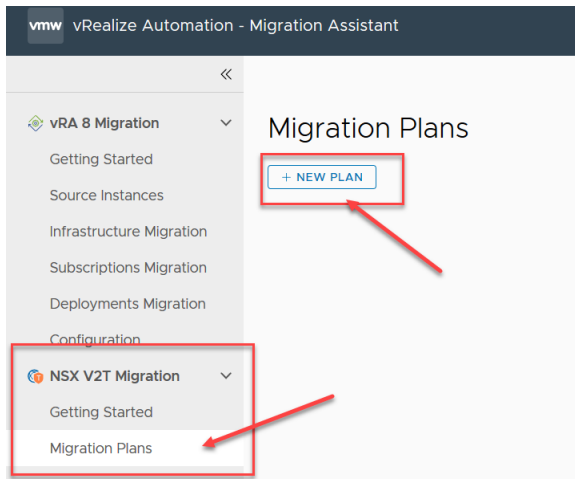
- 1 vRealize Automation 管理者の認証情報および移行のロール権限を使用して [vRealize Automation Cloud Services コンソール] にログインし、[vRA 移行アシスタント] サービス タイルをクリックします。



- 2 [NSX V2T 移行] メニューで、[はじめに] をクリックします。[はじめに] 画面の情報を確認して、プロセスの概要を把握します。詳細については、[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行の開始](#)を参照してください。



- 3 移行を開始する準備ができたなら、[NSX V2T 移行] メニューで [移行プラン] をクリックし、[新しいプラン] をクリックします。



- 4 移行プラン ウィザードには、プロセスの各ステップを進めるために必要な一連の手順が記載されています。詳細については、[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行](#)を参照してください。

NSX Migration Plan

1. NSX accounts Use this wizard to migrate a source NSX-V cloud account to a target NSX-T cloud account

NSX migration

Use this plan to migrate your NSX-V cloud account to a target NSX-T cloud account. This plan must be used concurrently with the NSX Migration tool in vRealize Automation. Time to complete: Approximately 3 hours.

Prerequisite: You must create a target NSX-T cloud account in vRealize Automation. The NSX-V cloud account is migrated to the target NSX-T cloud account. **The target NSX-T cloud account must not be associated to a vCenter cloud account.** You create the vCenter association later in the migration process.

Plan name

Description

Source NSX-V manager

Target NSX-T manager

NEXT: ASSESSMENT

2. Assessment	Run an assessment of your current vRealize Automation integration with NSX-V
3. Maintenance Mode	Enter maintenance mode for cloud accounts
4. NSX Migration	Transfer files to and from NSX-T Data Center Migration Coordinator
5. VRA Migration	Migrate from source to target cloud accounts.
6. Test Phase	Test your system
7. Finish	Exit maintenance mode and finish

詳細情報

NSX-V から NSX-T への移行プロセスの詳細については、この概要、このガイドに記載されている手順、および vRealize Automation NSX-V から NSX-T (NSX V2T) への移行アシスタント自体のコンテンツに加えて、VMware ブログ記事 [Automating NSX-V to NSX-T Migration with vRealize Automation 8.3](#) およびこの記事に付属するビデオを参照してください。

この章には、次のトピックが含まれています。

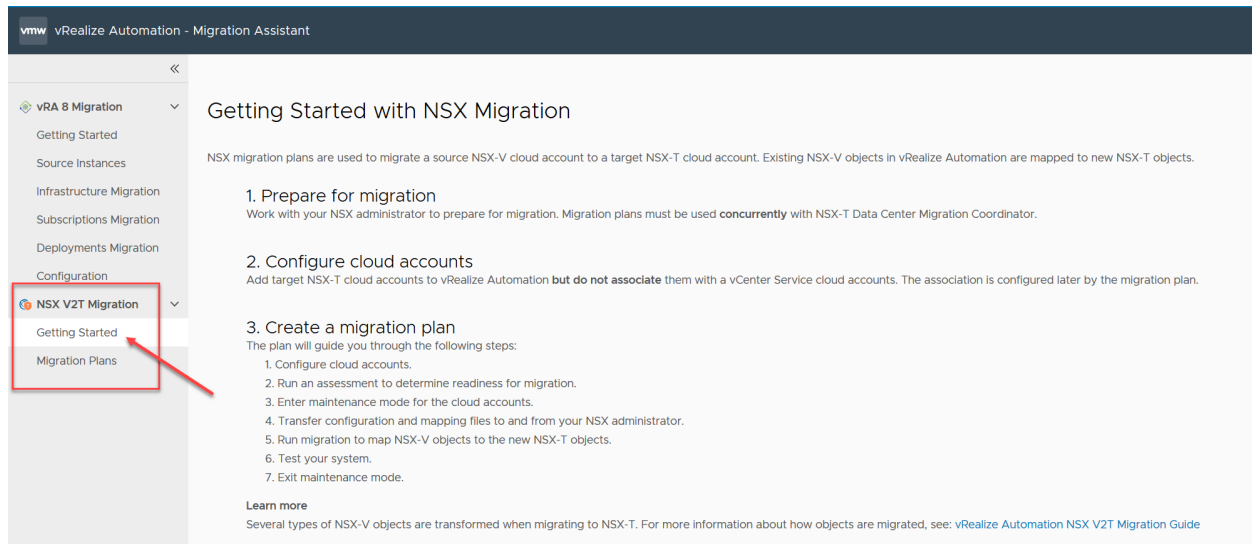
- [vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行の開始](#)
- [vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行](#)
- [vRealize Automation での移行後タスクの実行と移行したリソースの操作](#)

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行の開始

NSX-V から NSX-T への移行プロセスの大部分は、画面に表示される一連の指示とプロンプトを使用する vRealize Automation 移行プラン ウィザードに沿って実行されます。vRealize Automation 管理者と NSX 管理者は、移行の事前および移行プランの各手順で、相互に連絡をとる必要があります。

[はじめに] 画面で説明されているタスクを開始する前に、以下に示す移行の概要を確認して、移行プロセスおよびサポートされているトポロジについて全体像を把握します。参照用に、各移行プラン画面に適用される特定のドキュメント トピックへのリンクが提供されています。

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行の [はじめに] 画面には、一連の手順が示されています。



1. 移行の準備

NSX 管理者と協力して移行の準備をします。各移行プランでは、NSX の NSX-T Data Center Migration Coordinator ユーティリティとの間で入力と出力が必要になります。移行の途中で NSX 管理者とデータ ファイルを共有する必要があるときは、移行プランの画面上のヘルプによって通知されます。

移行を正常に実行するには、vRealize Automation 管理者が NSX 管理者との間で調整を行うことが重要です。プランを伝え、NSX-T Data Center Migration Coordinator ユーティリティでファイルをインポートおよびエクスポートするための時間の確保を依頼します。このユーティリティは、基盤となる NSX の移行を実行します。移行プランのステップ 4 では、[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行](#)で説明されているとおり、NSX 管理者と NSX-T Data Center Migration Coordinator ファイルを共有する必要があります。NSX-T Data Center Migration Coordinator の詳細については、[VMware NSX-T Data Center のドキュメント](#)で [Migrating NSX Data Center for vSphere \(NSX-V\) with vRealize Automation](#) を参照してください。

2. クラウド アカウントの構成

NSX-V から NSX-T への vRealize Automation 移行アシスタントを使用して NSX-V クラウド アカウントを NSX-T に移行する前に、vRealize Automation 内で新規の関連付けられていない NSX-T 移行先クラウド アカウントを移行元 NSX-V クラウド アカウントごとに作成する必要があります。

vRealize Automation プロジェクト内の各ソース NSX-V クラウド アカウントごとに、新しいターゲット NSX-T クラウド アカウントを vRealize Automation に追加します。

移行するソース NSX-V クラウド アカウントごとに 1 つの移行先 NSX-T クラウド アカウントを作成する必要があります。移行プランの作成時に、移行元 NSX-V クラウド アカウントから移行先 NSX-T クラウド アカウントへの 1:1 のマッピングを指定します。クラウド アカウントの 1:1 のマッピングそれぞれについて個別の移行プランが必要です。プランのステップについては、[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行](#)で説明されています。

- 移行先の NSX-T クラウド アカウントは、NSX-T Data Center バージョン 3.1.1 以降である必要があります。

- NSX-T クラウド アカウントを作成するときは、[ポリシー API メソッド] オプションを指定する必要があります。移行ユーティリティは、移行先 NSX-T クラウド アカウントに対して Manager API メソッドをサポートしていません。
- 移行先 NSX-T クラウド アカウントを vRealize Automation で vCenter または vCenter Server クラウド アカウントに関連付けることはできません。
- vRealize Automation 展開で使用中の NSX-T クラウド アカウントは指定しないでください。

NSX-T クラウド アカウントを作成する方法の詳細については、[vRealize Automation 製品ドキュメント](#)の『vRealize Automation Cloud Assembly の使用と管理』で [vRealize Automation での NSX-T クラウド アカウントの作成](#)を参照してください。

3. NSX-V から NSX-T への移行プランの作成

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行ツールを起動することにより、画面上の指示とプロンプトに従って NSX 移行プランへのポピュレートを開始します。

NSX 移行プランにより、次の必要な手順が進行します。

- 1 ソースおよびターゲット クラウド アカウントを構成します。
- 2 評価を実行して移行の準備状況を判断します。
- 3 クラウド アカウントのメンテナンス モードに切り替えます。
- 4 NSX 管理者との間で構成ファイルおよびマッピング ファイルを転送します。
- 5 移行を実行して、ソース NSX-V オブジェクトを新しいターゲット NSX-T オブジェクトにマッピングします。
- 6 システムをテストします。
- 7 クラウド アカウントのメンテナンス モードを終了します。

[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行](#)を参照してください。

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランの作成と実行

画面に表示される段階的な移行プラン指示と関連ドキュメントを使用して、ソース NSX-V クラウド アカウントをターゲット NSX-T クラウド アカウントに移行し、vRealize Automation 内の既存の NSX-V オブジェクトを新しい NSX-T オブジェクトにマッピングします。

移行プランを作成するには、[はじめに] 画面で説明されているタスクを実行する必要があります。[vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行の開始](#)を参照してください。

[移行プラン] 画面には、vRealize Automation 内で移行元 NSX-V クラウド アカウントとそれに関連付けられたオブジェクトを NSX-T に正常に移行するために実行する必要のある手順が順番に記載されています。

移行プランの画面に番号付きで順番に並べられた各手順を実行するには、それぞれ前の画面が正常に完了している必要があります。移行プランは、直線的に進んでいきます。番号付きの各画面がプロセスの 1 つのステージを表します。

前提条件

移行プランを作成して実行するには、次のサービス ロールが必要です。

- Cloud Assembly 管理者

[What are the vRealize Automation user roles](#) を参照してください。

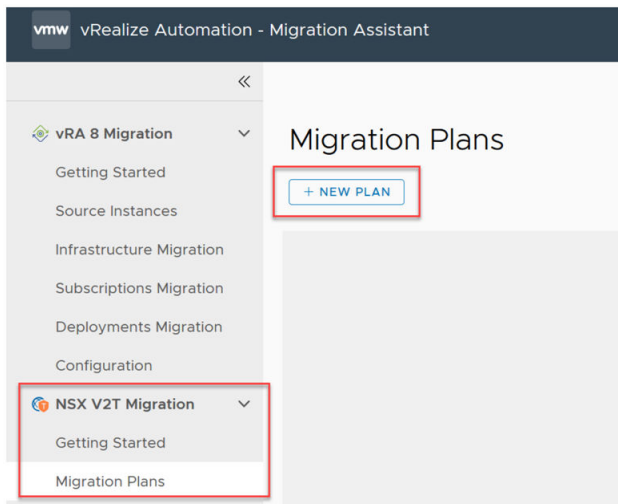
- vRA Migration Assistant 管理者

[vRealize Automation の組織およびサービスのユーザー ロール](#)を参照してください。

ステップ 1：新しいプランの作成と移行元および移行先のクラウド アカウントの特定

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への新しい移行プランに名前を付け、移行元 NSX-V クラウド アカウントとその移行先 NSX-T クラウド アカウントとの 1:1 のマッピングを入力します。

- 1 vRealize Automation 移行アシスタントのサービス画面で [NSX V2T 移行] - [移行プラン] - [新しいプラン] の順に選択して、新しい移行プランを開始します。



- 2 移行プランの名前を入力します。オプションでプランの説明を入力できます。

▼

✔

NSX accounts

Use this wizard to migrate a source NSX-V cloud account to a target NSX-T cloud account

NSX migration

Use this plan to migrate your NSX-V cloud account to a target NSX-T cloud account. This plan must be used concurrently with the NSX Migration tool in vRealize Automation. Time to complete: Approximately 3 hours.

Prerequisite: You must create a target NSX-T cloud account in vRealize Automation. The NSX-V cloud account is migrated to the target NSX-T cloud account. **The target NSX-T cloud account must not be associated to a vCenter cloud account.** You create the vCenter association later in the migration process.

Plan name	tairskiv
Description	
Source NSX-V manager	mp-nsxv
Target NSX-T manager	mp-nsxt

[NEXT: ASSESSMENT](#)

3 vRealize Automation ソース NSX-V クラウド アカウント名を入力します。

vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行アシスタントでは、各ソース NSX-V クラウド アカウントに個別の移行プランが必要です。

移行元 NSX-V クラウド アカウントは、vCenter Server 7.0 以降のクラウド アカウントに関連付けられている必要があります。

4 vRealize Automation ターゲット NSX-T クラウド アカウント名を入力します。

これは、移行の前提条件フェーズで [はじめに] 画面の指示によって作成した移行先 NSX-T クラウド アカウントです。

移行先 NSX-T クラウド アカウントは、次の条件を満たす必要があります。

- 移行先の NSX-T クラウド アカウントは、NSX-T Data Center バージョン 3.1.1 以降である必要があります。
- NSX-T クラウド アカウントを作成するときは、[ポリシー API メソッド] オプションを指定する必要があります。移行ユーティリティは、移行先 NSX-T クラウド アカウントに対して Manager API メソッドをサポートしていません。
- 移行先 NSX-T クラウド アカウントを vCenter または vCenter Server クラウド アカウントに関連付けることはできません。
- vRealize Automation 展開で使用中の NSX-T クラウド アカウントは指定しないでください。

5 [次: 評価] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを続行します。

ステップ 2：移行に備えて NSX クラウド アカウントを評価する

このステップでは、評価を実行して、ソース NSX-V クラウド アカウントとその関連オブジェクトを NSX-T に移行する準備、およびターゲット NSX-T クラウド アカウントが移行したオブジェクトを受け入れる準備の状況を確認します。

1 [評価の実行] をクリックして、初期評価を実行します。

2 評価でエラーが発生した場合は、出力メッセージを確認します。

2. Assessment Run an assessment of your current vRealize Automation integration with NSX-V

Assessment evaluates NSX-V objects to determine if they can be migrated.

[RUN ASSESSMENT](#) [EXPORT](#)

Summary Deployments Network Profiles Networks Load Balancers Security Groups

Summary

Name ff

Assessment status Ready

Last run Nov 20, 2020, 1:01:20 PM

Cloud accounts

Name	Assessment Status	Description
v2t-nsxv	Ready	NSXV cloud account : 'v2t-nsxv' supported.
v2t-vcenter	Ready	vSphere cloud account : 'v2t-vcenter' supported.
v2t-nsxt	Ready	NSXT cloud account : 'v2t-nsxt' supported.

3 出力されたメッセージに基づいて [サマリ] タブおよび関連するそれぞれのタブを開き、準備が完了しているかどうかを確認します。

Assessment evaluates NSX-V objects to determine if they can be migrated.

[RUN ASSESSMENT](#) [EXPORT](#)

Summary Deployments Network Profiles Networks Load Balancers Security Groups

Summary

Name mp-new-plan

Assessment status Not ready

Last run Nov 22, 2020, 2:59:29 PM

Cloud accounts

Name	Assessment Status	Description
mp-nsxv	Ready	NSXV cloud account : 'mp-nsxv' supported.
mp-nsxt	Not Ready	NSXT cloud account : 'mp-nsxt' supported.

[NEXT](#)

必要な修正を実行してから、再度 [評価の実行] をクリックします。

4 各タブを開き、移行の準備ができているオブジェクトを調べます。

たとえば、[ネットワーク] タブを開き、移行の準備ができているネットワーク オブジェクトを調べます。

2. Assessment Run an assessment of your current vRealize Automation integration with NSX-V

Assessment evaluates NSX-V objects to determine if they can be migrated.

[RUN ASSESSMENT](#) [EXPORT](#)

Summary Deployments Network Profiles **Networks** Load Balancers Security Groups

Name	Assessment Status	Details
3-switch-1682	Ready	Fabric Network : Fabric Network '3-switch-1682' is supported.
PC-NW-ROUTED-mcm80-154146315622	Ready	Fabric Network : Fabric Network 'PC-NW-ROUTED-mcm80-154146315622' is supported.
1-switch-1715	Ready	Fabric Network : Fabric Network '1-switch-1715' is supported.
2-switch-70	Ready	Fabric Network : Fabric Network '2-switch-70' is supported.
4-switch-1501	Ready	Fabric Network : Fabric Network '4-switch-1501' is supported.
PC-NW-PRIVATE-mcm79-154146312273	Ready	Fabric Network : Fabric Network 'PC-NW-PRIVATE-mcm79-154146312273' is supported.

1 - 6 of 6 items

[NEXT](#)

5 評価に問題がなく、続行できる状態ならば、[エクスポート] をクリックします。

エクスポートしたファイルは、クラウド アカウントのメンテナンス モードを終了する前に移行後のテストに使用することができます。

- 6 [次へ] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを続行します。

ステップ 3：メンテナンス モードに切り替える

移行するクラウド アカウントをメンテナンス モードにします。クラウド アカウントがメンテナンス モードになると、そのクラウド アカウントのすべての割り当て、プロビジョニング、Day 2 アクション、およびスケジュール設定された列挙が停止します。これにより、関連する NSX-V クラウド アカウントが NSX-T に移行される処理の間、影響を受ける vRealize Automation の展開を開始、編集、操作することはできなくなります。

メンテナンス モードでは、クラウド アカウントおよびそのクラウド アカウントに関連するすべてのオブジェクトが使用できなくなりますが、移行中、*移行管理者* サービス ロールを持つ vRealize Automation 管理者にはテスト アクセス権が付与されます。

- 1 [メンテナンス モードへの切り替え] をクリックします。
- 2 プロンプトに従って vRealize Automation 環境のバックアップを作成します。

vRealize Automation でのバックアップの作成方法については、[vRealize Suite 製品ドキュメント](#)の「Backup and Restore, and Disaster Recovery > 2019」セクションを参照してください。

- 3 必要なバックアップを作成したら、[バックアップが作成され、続行する準備が整いました] をクリックしてから、[次へ] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを続行します。

Maintenance Mode

Enter maintenance mode for cloud accounts

These cloud accounts must be in maintenance mode during migration. While in maintenance mode data collection is paused and provisioning is disabled for users that do not have the Migration Administrator role.

ENTER MAINTENANCE MODE

EXIT MAINTENANCE MODE

Cloud Account	Status	Description
v2t-nsxv	In maintenance	
v2t-nsxt	In maintenance	
v2t-vcenter	In maintenance	

Now that the accounts have been placed into maintenance mode, **save a backup** to ensure that a stable system can be restored in case of error.
 [Documentation](#)
✕

☒ Backups are created and I am ready to continue.

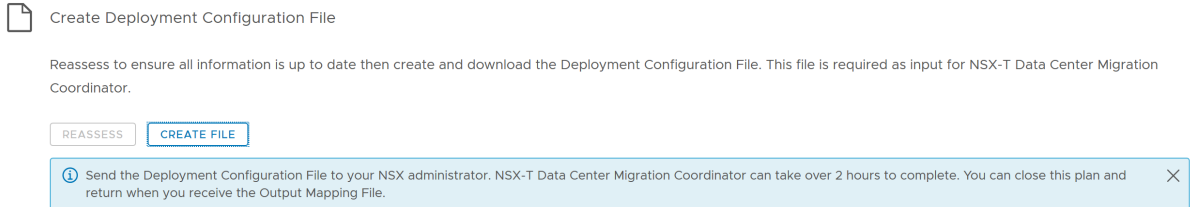
NEXT

ステップ 4：NSX-T Data Center Migration Coordinator との間でファイルを転送する

移行プランのこの手順では、NSX-T Data Center Migration Coordinator サービスへの入力用の展開構成ファイルを生成します。この構成ファイルは、NSX 管理者に NSX-T Data Center への入力用として提供します。また、NSX-T Data Center Coordinator サービスによって生成された、NSX 管理者から提供されるマッピング出力ファイルを取得してインポートします。

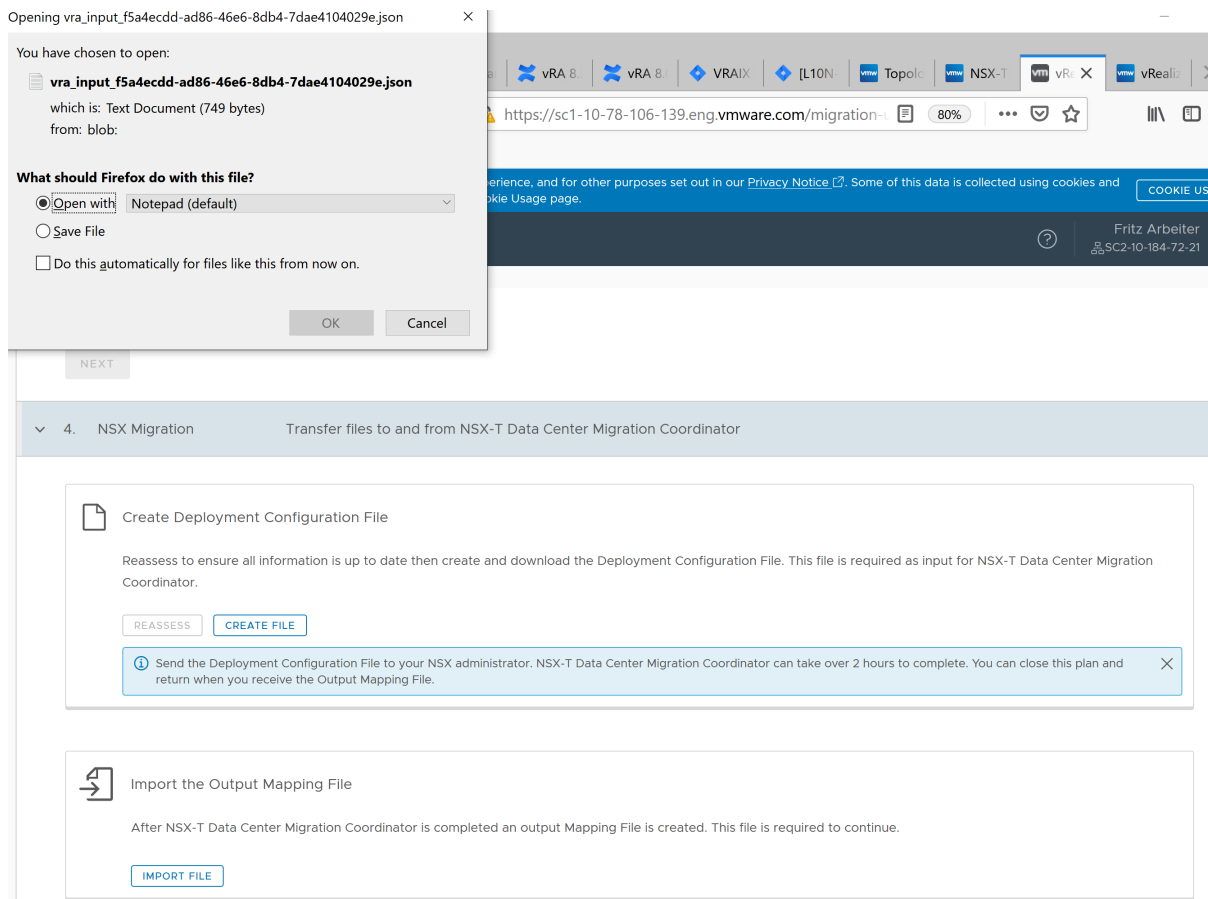
この手順では、vRealize Automation 管理者が vRealize Automation で実行するタスクと、NSX 管理者が NSX で実行するタスクについて説明します。vRealize Automation 管理者と NSX 管理者は、別のユーザーでも同じユーザーでも構いません。

- 1 指示に従って、[ファイルの作成] をクリックして展開の構成ファイルを作成します。



注： 移行の準備ができていないオブジェクトに関するエラーまたは警告が表示された場合は、提案に従って問題を解決してから、[再評価] をクリックします。[再評価] をクリックしてエラーも警告も発生しない状態になるまで、[ファイルの作成] オプションは再び有効になりません。

- 2 プロンプトに従って .json ファイルを保存し、ファイルの送信先に関する指示を確認します。



- 3 展開の構成ファイルが生成されたら、指示に従ってファイルを NSX 管理者に送り、NSX-T Data Center Migration Coordinator サービスにインポートするように依頼します。

NSX 管理者がファイルを NSX-T Data Center Migration Coordinator サービスにインポートすると、この移行プラン画面の次の手順を完了するために必要な出力マッピング ファイルが生成されます。NSX 管理者がファイルを NSX-T Data Center Migration Coordinator サービスにインポートするプロセスの詳細については、[NSX-T Data Center Migration Coordinator ガイドの NSX Data Center for vSphere 構成のインポート](#)を参照してください。

この手順から次の手順までは、時間がかかる場合があります。この待機時間の間、クラウド アカウントはメンテナンス モードのままです。

- 4 NSX 管理者から、NSX-T Data Center Migration Coordinator によって生成された出力マッピング ファイルを取得します。

NSX-T Data Center Migration Coordinator では、部分的または完全な出力マッピング ファイルを生成できます。移行プランには、完全な出力マッピング ファイルが必要です。時間を節約し、混乱を避けるために、部分的なファイルではなく完全な出力マッピング ファイルの提供を、NSX 管理者に依頼してください。

- 5 [ファイルのインポート] をクリックして、NSX 管理者から提供された NSX-T Data Center Migration Coordinator 出力マッピング ファイルをインポートします。



Import the Output Mapping File

After NSX-T Data Center Migration Coordinator is completed an output Mapping File is created. This file is required to continue.

IMPORT FILE

完全な出力マッピング ファイルを NSX-T Data Center Migration Coordinator からインポートすると、移行プランはそのファイルを使用して、vRealize Automation でクラウド アカウントとその関連オブジェクトを移行します。

部分的な出力マッピング ファイルをインポートすると、インポート タスクは最終的に失敗して、次のエラー メッセージが表示されます。The output mapping file was downloaded before the NSX migration completed. Use the output mapping file downloaded after the migration process completed.

出力マッピング ファイルの内容については、[NSX-T Data Center 製品ドキュメント](#)の『NSX-T Migration Coordinator ガイド』で[出力マッピング ファイルの概要](#)を参照してください。

- 6 インポート タスクが正常に完了したら、[次へ] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを続行します。

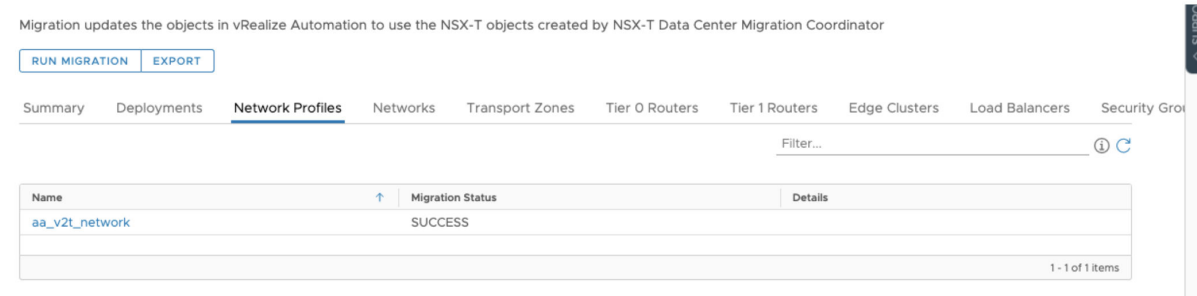
ステップ 5 - NSX-V クラウド アカウントとその関連オブジェクトを NSX-T クラウド アカウントに移行する

移行を実行して、vRealize Automation 内の移行元 NSX-V クラウド アカウントとその関連オブジェクトを移行先 NSX-T クラウド アカウントにマップします。

移行のこのステージでは、(移行プランの前の画面でインポートした) NSX-T Data Center Migration Coordinator 出力マッピング ファイルのデータを使用して、vRealize Automation 内で NSX-V クラウド アカウントを NSX-T に移行します。

- 1 [移行の実行] をクリックして、vRealize Automation 内の NSX-V クラウド アカウントとそれに関連付けられたオブジェクトを NSX-T クラウド アカウントとオブジェクトに移行します。

- 2 [移行の実行] が完了すると、サマリ メッセージが表示されます。



[移行の実行] アクションが成功しなかった場合は、[サマリ] 画面で出力メッセージを調べ、関連する各タブを開いて問題が見つかった場所を確認します。

移行中に発生した問題によっては、そのまま移行を続行するか、以前に作成したスナップショット バックアップを使用して移行を破棄し、クラウド アカウントとオブジェクトを移行前の状態にリストアするかの決定が必要です。オブジェクトが NSX-T Data Center Migration Coordinator 内で移行済みの場合は、NSX の実際の移行をロールバックすることもあります。

- 3 [エクスポート] をクリックして、後で使用するために移行の履歴ファイルを生成します。
- 4 [次へ] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを続行します。

ステップ 6：移行の結果をテストする

移行が完了したら、クラウド アカウントをメンテナンス モードにしたままテストを実行して、移行結果を確認します。

クラウド アカウントとその関連オブジェクトは引き続きメンテナンス モードであり、それらに対して作業は実行できません。ただし、移行アシスタント管理者ロールを持つ vRealize Automation 管理者は、移行後のテストのためにクラウド アカウント オブジェクトにアクセスできます。移行アシスタント管理者ロールを持つ vRealize Automation 管理者は、メンテナンス モード中のクラウド アカウントに対して限定的なテストを実行できます。ロールの詳細については、[vRealize Automation のユーザー ロールについて](#)を参照してください。

組織としてのテスト プランを作成してあることが理想的ですが、次のような基本を含むテストの一般的な提案が画面に表示されます。移行後のテストの一環として、移行プランの画面 2 および画面 5 でエクスポートした評価ファイルを参照します。

- 移行中に生成された警告を確認します。
- プランのステップ 1 で指定した 1:1 クラウド アカウント マッピングをテストします。
- サンプル、または影響を受けるすべてのクラウド テンプレートと展開をテストします。
- マッピングされた NSX ロード バランサ、ネットワーク、およびセキュリティ グループを調べて、適切に構成されていることを確認します。
- クラウド テンプレートを展開し、アプリケーションが適切なエンドポイントに配置され機能していることを確認して、アプリケーションのプロビジョニングと破棄を行います。
- 展開済みのアプリケーションを監視して、正常に機能することを確認します。

移行後のテストが完了したら、[次へ] をクリックしてプランの次の画面に移動し、移行プロセスを完了します。

ステップ 7 - クラウド アカウントのメンテナンス モードを終了して移行プランを終了する

移行後のテストが完了したら、クラウド アカウントのメンテナンス モードを終了し、vRealize Automation での NSX-V から NSX-T への移行プランを終了します。

- 1 現在メンテナンス モードになっている vRealize Automation のリソースを選択し、メンテナンス モード マーカーを削除します。プロンプトに応答します。
- 2 [完了] をクリックしてプランを終了し、移行プランを完了します。

移行プランを終了した後は、関連付けられた vCenter 環境で移行後のクリーンアップ タスクをいくつか実行する必要があります。[vRealize Automation での移行後タスクの実行と移行したリソースの操作](#)を参照してください。

vRealize Automation での移行後タスクの実行と移行したリソースの操作

NSX-V から NSX-T への移行が正常に完了しました。これで、管理対象の vRealize Automation プロジェクトで NSX-T オブジェクトを使用できます。ただし、vCenter Server で最終的なクリーンアップ手順を実行する必要があります。

移行プロセス全体を完了するには、vCenter Server 環境で最後の移行後タスク、特に NSX-V オブジェクトのクリーンアップに関連するタスクを実行する必要があります。これらの最終的な移行後タスクを完了したら、移行したリソースの操作に関する情報をユーザー間で共有できます。

移行後のクリーンアップ タスクの実行

正常に移行されたことを確認したら、残っている NSX-V アイテムについて移行後のクリーンアップを実行する必要があります。たとえば、期限切れのコントローラ、Edge、vCenter Server プラグイン、構成ファイルなどを削除する必要があります。これは手動の手順であり、[NSX-T Data Center 製品ドキュメントの NSX-T Data Center Migration Coordinator ガイド](#)に含まれる[移行後の NSX for vSphere のアンインストール](#)トピックで説明されています。

移行された NSX リソースの操作

vRealize Automation での NSX-T オブジェクトの使用については、[vRealize Automation 製品ドキュメントの vRealize Automation Cloud Assembly の使用と管理](#)を参照してください。

NSX-T 自体の操作については、[NSX-T Data Center 製品ドキュメント](#)を参照してください。